

被爆
80
年

被爆二世シンポジウム in ながさき

日時:2025年10月11日(土) 14:00~16:00
場所:長崎原爆資料館ホール

内容:被爆二世問題を国民的課題にするためのパネルディスカッション
パネリスト

在間 秀和(弁護士・原爆被爆二世の援護を求める集団訴訟弁護団長)

振津かつみ(兵庫医科大学非常勤講師 遺伝学(放射線基礎医学)、内科医)

崎山 昇(全国被爆二世団体連絡協議会会長、長崎の被爆二世)

被爆二世訴訟
の結果はどう
なったの?

被爆二世って、
全国にどのく
らいいるの?

全国被爆二世連絡協
議会ってどんな活動
をしているの?

国会ではどん
なことが議論さ
れているの?

放射線の
遺伝的影響って
何?

みなさんの疑問にお答えします

被爆二世は、親が被爆した原爆放射線の遺伝的影響の可能性を否定できない原爆(核)の被害者です。全国には30万人とも50万人ともいわれる被爆二世が存在しています。その中には、過去と現在の健康被害や将来の健康不安に苦しんでいる被爆二世がいます。全国被爆二世団体連絡協議会(全国被爆二世協)では1988年の結成以来、被爆二世に対する原爆二法や被爆者援護法の適用を求めてきました。今年是被爆から80年を迎えようとしていますが、未だに実現をしていません。全国被爆二世協では、被爆80年を迎えるにあたって、被爆二世集団訴訟をたたかいながら、被爆者問題議員懇談会と連携して、被爆二世問題の解決を国民的課題に押し上げ、被爆者援護法の適用をめざそうとしています。

そして、被爆二世問題の解決を国民的課題に押し上げ、市民の皆さんの支援のもとに、国会での政治的解決につなげていくために、シンポジウムを開催することにしました。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。



主催:全国被爆二世団体連絡協議会、長崎県被爆二世の会、原水爆禁止長崎県民会議
連絡先:長崎県被爆二世の会 Tel 095-823-7281
email ngs-heiwa@vesta.ocn.ne.jp 小宮まで



↑全国被爆二世協HPへ